

②事業概要

萩市民館整備事業（基本構想策定）

1 現状

萩市民館は昭和43年10月に新築し、その後平成5年12月に楽屋棟を、平成25年5月にトイレ棟を増築して現在に至っている。老朽化が進んでいる本施設について、建設地の選定及び整備手法について検討する。

今後のスケジュールとして、令和6年度中に「萩市民館整備事業基本構想」を策定するもの。

- (1) 建物名称 萩市民館
- (2) 所在地 萩市大字江向495番地4
- (3) 用途 市民館（集会施設）
- (4) 構造・階数 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建て
- (5) 面積 建築面積3,814.00㎡、延床面積4,092.03㎡
- (6) 階高 15.7m
- (7) 建設年度 昭和43年10月（築55年）
- (8) 耐震性 新耐震基準非適合 Is値0.45
（平成22年度耐震診断実施）
- (9) 設計者 建築設計 菊竹清訓建築設計事務所
照明設計 石井幹子（照明デザイナー）
- (10) 大ホール客席数 889席
- (11) その他 明治維新100年記念事業として整備



萩市民館



周辺マップ

2 課題

(1) 耐震性について

- ・建築物の耐震性がない。
- ・耐震改修を行う場合は、別途詳細調査及び耐震設計が必要。
- ・吊り天井の耐震性がないため、地震により崩落する

おそれがある。

(2) 老朽度について

- ・建物及び電気、給排水、空調等の設備が全体的に老朽化している。
- ・自家用発電設備が老朽化しており、修理等の対応も難しい状況である。

(3) 施設計画について

- ・イベントによっては出演者の控室が不足する場合がある。
- ・男子トイレが不足しており、大ホール行事がある場合は混雑する。
- ・バリアフリー対応が不十分。

(4) 建築設備について

- ・防音設備が不十分であり、かなりの音漏れがある。
- ・コンサートの規模により電力不足となる場合があり、不足することが予想される場合は、自前で発電機を設置する必要がある。
- ・空調設備の効率が悪く、特に暖房の効きが悪い。早急に更新しないと改修費もかかるうえに、現状ではもたないと思われる。
- ・トイレは水量不足の状況が生じている。
- ・給排水配管は、配管内が一部閉塞している状況があり、部分的に配管の詰まりがある。

(5) その他

- ・建築は、建築家・菊竹清訓氏の設計。
- ・照明は、照明デザイナー・石井幹子氏の日本でのデビュー作品。